

令和6年1月5日
公益社団法人 自衛隊家族会
東京都自衛隊家族会
会 長 森山 尚直

令和6年1月「月報」

<会長挨拶>

新年明けましておめでとございます。今年も宜しくお願い致します。

穏やかなお正月を過ごされた方も多いことと思いますが、元旦には能登半島での震度7の大地震に伴い大きな被害が発生し、日本海沿岸の各地でも津波が発生しました。本震災でお亡くなりになった方々のご冥福と被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

また、2日には、羽田空港で民間航空機と被災地に支援物資を輸送していた海上保安庁の航空機との衝突事故が発生し、海上保安庁の職員の方々が殉職されました。殉職された方々のご冥福をお祈りいたします。

能登半島での地震においては、防衛省・自衛隊は、陸自中部方面総監（堀井泰蔵陸将）を統合任務部隊指揮官として1万人の体制で、救助活動と各種支援活動を行っています。

また、年末年始において、12月27日には沖縄県石垣市の浄水場のろ過装置不具合に伴う断水に際し、石垣駐屯地の所在部隊が給水支援を、1月1日には群馬県吾妻郡高山村に所在する養鶏場（約36万羽）における鳥インフルエンザの発生に伴い、相馬原駐屯地所在の部隊が、殺処分支援の災害派遣活動を行っています。

年末年始の休暇を返上しての災害派遣活動、またこの期間も隙のない防衛態勢を維持するため警戒監視任務を遂行された自衛隊員の皆様に心より敬意と感謝を申し上げます。

戦後最も厳しいと云われる我が国を取り巻く安全保障環境、12月22日に閣議決定された令和6年度防衛関係予算（案）では、7兆7,249億円が計上され、その中には、隊員処遇の改善の費用も含まれています（細部後述）。

自衛隊に対する国民の期待が益々高まる中、わたくし達「東自家族会」への期待もより一層高まっており、そのことを自覚し行動する一年にしたいと思っております。

会員の皆様の引き続きのご理解とご協力をお願い致します。

最後になりましたが、この一年が会員の皆様にとって幸多き年となりますようご祈念申し上げます。

<東自家族会の活動>

1 令和5年12月の活動

(1) 東京地方協力本部年末行事

令和5年12月12日（水）11時から東京地方協力本部において令和5年度の年末行事が行われ餅つきなどが行われました。東自家族会からは、森山会長、佐竹副会長、若菜副会長が出席致しました。今年一年の感謝と来年への思いを新たに致しました。



杵を持つ山下本部長

(2) 第1普通科連隊創隊72周年記念行事

令和5年12月16日(土)練馬駐屯地で、第1普通科連隊創隊72周年の記念行事が行われ、森山会長の代理として佐竹副会長が出席しました。

「多くのご来賓に会場いただいた中で本年は創隊以来、初めて、森澤恭子品川区長、酒井直人中野区長、鈴木晶雅大田区長、山田加奈子北区長にご来臨いただきご祝辞を賜りました」(第1普通科連隊Xより)とのことです。



(3) 採用予定者の保護者向け入隊説明会

令和5年12月17日(日)10時から東立川駐屯地で東京地本三多摩地区隊主催の一般曹候補生と自衛官候補生の採用予定者の「保護者向け入隊説明会」が実施され、保護者43人、採用予定者18人が参加しました。

この際、宮地三多摩地区協議会長以下7名の三多摩地区協議会の会員の皆様が支援しました。三多摩地区協議会の皆様には、ご多用の中、ご支援をいただきありがとうございました。

なお、説明会には森山会長も参加し、自衛隊家族会について説明を行いました。



質問に対応する家族会会員

2 12月以降の主な事業・行事

(1) 東京地本協力9団体主催新年賀詞交換会

令和6年1月15日(月) グランドヒル市ヶ谷

16:00～17:00 内倉航空幕僚長の防衛講話(無料)

17:20～19:00 交換会 (会費 7000円)

(2) 令和5年度地区会長等意見交換会

令和6年1月20日(土)

13:30～15:30 意見交換会 東京地本会議室

16:00～17:00 防衛講話 グランドヒル市ヶ谷

講師 鍛冶雅和氏(元潜水艦隊司令官)

17:20～19:00 懇親会(60周年記念の夕べ) グランドヒル市ヶ谷
(会費 7000円)

(3) 第3回地区協議会長等意見交換会

令和6年2月25日(日) 13:30 場所調整中

議題: 令和6年度の東自家族会の事業計画等

3 その他

(1) 近郊の自衛隊のイベント情報（各部隊などのホームページより）

○ 陸上自衛隊中央音楽第171回定期演奏会

令和6年2月21日（水） 19時から すみだトリフォニーホール（大ホール）

申し込みは、1月19日（金）まで

問い合わせ先 陸上自衛隊中央音楽隊 電話：048-460-1711 内（3678）

○ 海上自衛隊横須賀音楽隊第51回定期演奏会

令和6年2月22日（木） 19時から 横浜みなとみらいホール（大ホール）

申し込みは、1月15日（月）締切必着（往復はがきで申し込み）

問い合わせ先 横須賀地方総監部 広報推進室 046-822-3500（内線：2208）

○ 東部方面音楽まつり

令和6年2月23日（金）和光市市民文化センター サンアゼリア大ホール

第1回公演10：30から 第2回公演14：30から

申し込みは、1月23日（火）まで

問い合わせ先 東部方面総監部広報室 電話：048-460-1711（内線2438）

○ 第1音楽隊定期演奏会

令和6年3月3日（日） 文京区シビックホール

問い合わせ先：第1師団司令部総務課広報室 電話：03-3933-1161（内線2151）

(2) 東京地本のホームページ等より

12月22日付で本部長の山下博二陸将補は、東部方面総監部幕僚副長に異動され、後任には、東部方面総監部幕僚副長の横田紀子陸将補が着任されました。

横田陸将補は、防衛大学校出身で、東北方面特科連隊長、陸幕広報室長などのご勤務があります。



(3) 令和6年度防衛関係予算（案）について（防衛省ホームページより抜粋）

令和6年度予算 — 基本的考え方（抜粋） —

- 国際社会は戦後最大の試練の時を迎え、既存の秩序は深刻な挑戦を受け、新たな危機の時代に突入しているとの基本認識の下、「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」に基づき、整備計画期間内の防衛力抜本的強化実現に向け、令和6年度において必要かつ十分な予算を確保

・歳出ベース

令和5年度に大きく増加した契約額を着実に執行するための予算を確保し、整備計画対象経費として7兆7,249億円を計上

・契約ベース

5年目の令和9年度に向け、複数年度を要する装備品や自衛隊施設等の整備に早期に着手できるよう、整備計画対象経費として9兆3,625億円を計上（今年度と合わせると、計画の実施に必要な契約額43.5兆円のうち、既計上分は42%）

令和6年度防衛関係費の主な事業について（人的基盤強化の記載のみ抜粋）

自衛隊の任務遂行を支えるため、人的基盤の強化（人材の確保、処遇の改善、民間人材の活用等）、衛生機能の強化（自衛隊病院の機能強化等）などの各種施策を推進していくことが必要

【人的基盤の強化】

◎ 優秀な人材確保のための取組

- 募集業務の充実・強化（抜粋）
 - ・ 地方協力本部の体制強化
非常勤職員の採用により、募集担当者が募集活動に専念できる環境の整備
 - ・ 非任期制自衛官の採用枠の拡大
- 再就職支援の充実・強化（略）
- 自衛官の給与・手当に係る処遇の改善（96億円）

○主な項目	○改善策の概要
護衛艦、潜水艦等の乗組員に支給する手当の引上げ	・ 護衛艦等：現号俸×「33%」 ⇒ 「43%」 ・ 潜水艦： 現号俸×「45.5%」 ⇒ 「55.5%」 【一例】護衛艦乗組員の1尉の手当 月額約113,000円 ⇒ 約147,000円（+約34,000円）
レーダーサイトで勤務する隊員に支給する手当の新設	・ 1日につき860円 ・ 月20日勤務の場合 ⇒ 月額17,200円（860円×20日）
自衛隊サイバー防衛隊で勤務する隊員に支給する手当の引上げ等	・ 新規対象者に支給割合16%を適用 等
水陸機動団で勤務する隊員に支給する手当の引上げ	・ 水陸両用特技員：初号俸×「12.375%」 ⇒ 「25%」 ・ 洋上活動特技員：初号俸×「6.875%」 ⇒ 「20%」 【一例】水陸両用特技の1尉の手当 月額約36,000円 ⇒ 約74,000円（+約38,000円）
レンジャー訓練中の隊員に支給する手当の新設	・ 要員養成訓練中の隊員・教官：1日につき4,260円 ・ 能力維持訓練中の隊員・教官：1日につき2,130円

○その他

- ・ 防空指令所等で勤務する隊員への手当の支給（日額740円等を支給）
- ・ 基地警備等のために深夜勤務する隊員に支給する手当の引上げ（日額730円から1,100円に引上げ等）
- ・ 普通科連隊等の狙撃手への手当の支給（階級初号俸の16.5%等を支給）
- ・ 馬毛島で勤務することとなる隊員への手当(へき地手当等)の支給（俸給等の15%支給）

◎ハラスメント防止対策

防衛省ハラスメント防止対策有識者会議の提言を受けた各種教育機会等の充実

◎海自艦艇の通信環境の改善

- ・居住区画においても隊員個人の携帯電話からメールの送受信が可能となるようラジオ・テレビ受信装置の無線LAN環境と隊員が家族と連絡を取るための電子家庭通信装置を接続
- ・水上艦艇に加え、潜水艦においても電子家庭通信装置を整備等



ハラスメント防止に係る集合教育を受講する隊員の様子

◎ 女性活躍、働き方改革及び生活・勤務環境改善の推進等

- 女性自衛官の教育・生活・勤務環境の基盤整備
 - ・ 隊舎・潜水艦における女性用区画の整備
 - ・ 女性自衛官の生活勤務環境改善のための整備（女性用トイレ等の整備）
- 生理用品の整備

緊急事態等への対応や行動に制限がある環境で勤務する女性自衛官が、自身で準備している生理用品の不足を補うものとして整備し、生理用品の不足による不安を解消し、安心して業務に従事できる環境を整備

○これまでの主な取り組み

- ・ 女性職員の採用・登用の拡大
- ・ 隊舎・艦艇の女性用区画整備
- ・ 男性用から女性用トイレへの改修
- ・ 女性自衛官教育基盤の整備



- 宿舎の整備等（479億円）、隊舎・庁舎等の整備（3,025億円）、被服等の整備（215億円）、備品・日用品等の整備（113億円）

※ このうち空調については、隊員の健康に影響を与えるため、優先的に整備。

このほか、必要な運搬費（有料道路使用料を含む。）を計上し、隊員の移動に係る負担を軽減し、勤務環境の改善を推進。

- 我が国の水産物の消費拡大等による駐屯地等における献立の魅力化（13億円）

◎ 教育・研究体制の充実

- 防衛大学校の情報工学科をサイバー・情報工学科（仮称）に改編

◎ 持続的な部隊運用を支える予備自衛官等に係る施策の推進

- 予備自衛官等管理システムの整備

<地区協議会だより>

○ 三多摩地区協議会

三多摩地区協議会は、昨年12月17日（日）、東立川駐屯地で開かれた一般曹候補生と自衛官候補生の採用予定者の「保護者向け入隊説明会」を支援しました。

東京地本三多摩地区隊の主催行事で、保護者43人のほか、採用予定者本人も18人が参加。森山尚直・東自家会長も視察にこられ、三多摩地区協議会長と会員6人が陸海空に分れて説明しました。



○ 城南地区協議会 ○ 城北地区協議会 ○ 城東地区協議会

<東京地本からの連絡事項>

〒162-8850 東京都新宿区市谷本村町10番1号
自衛隊東京地方協力本部 東京都自衛隊家族会連絡所
TEL 03-5228-7833 (FAX 同時切替)

東京都自衛隊家族会賛助会員のご紹介（登録順）

参議院議員 佐藤 正久 様	昭島ガス株式会社 代表取締役 平畑 文興 様
衆議院議員 松原 仁 様	衆議院議員 長島 昭久 様
柴田法務会計事務所 柴田 純一 様	衆議院議員 松本 洋平 様
衆議院議員 小田原 潔 様	衆議院議員 山田 美樹 様